

ひょうごかぞくねっと

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第 51 号

— 会長就任のご挨拶 —

ひょうごかぞくねっと会長 山口 英治



この度、皆様のご推挙により兵庫県知的障害者施設家族会連合会(ひょうごかぞくねっと)の会長に就任いたしました山口英治と申します。何卒、よろしくお願い申し上げます。

長年に会長を務められた由岐前会長におかれましては、「ひょうごかぞくねっと」における功労に感謝申し上げます。

私は、1964 年前回の東京オリンピックの年に生まれ、現在 57 才となります。由岐前会長がご勇退されることとなり、理事会より会長就任への推薦をいただきましたが、兄弟としての立場である私で良いのか、諸先輩がいらっしゃるのに私ごとき若輩者が会長になって良いものなのか、悩みに悩み、様々な方に相談をさせていただくとともに、自分自身も見つめ直しました。振り返ると私が産まれる時、障害のある兄の介助を優先するため、当時では珍しくなった自宅での出産を両親は選択しました。産まれた時から、私は障害のある兄とともに歩んできました。大きな転機は、兄 27 才、私が 25 才の時に父がクモ膜下出血により、57 才で逝去し、その 10 年後母が、逝去しました。想像をしていなかった事態の中で、私は 35 才で、兄の保護者となりました。今後どのようにすればいいのか悩みましたが、兄と接するうちに、両親の代わりを兄が求めているのではないことに気づきました。

兄は、自分が兄であることを自覚し行動していることに気づいたのです。兄との二人三脚での歩みは、いつの間にか父よりも長く兄の保護者としての時間が経過していました。いつの日であったか覚えていませんが、若き日人生に悩んでいる時に、誰もが経験できないことを兄を通じて経験することができ、障害のある兄と歩むことが、私自身の「使命」であると思えるようになりました。そのことを思い出した時、会長のお話も私自身の「使命」と感じ職に就かせていただく決意をしました。

現在、世界が経験のないコロナ禍で苦しんでいる時、障がい者を守り、障がい者の新しい時代を切り開いていかなければなりません。皆さんによって社会が障がい者を差別し、見向きもしない、何も補助がない時代から一つひとつ勝ち取り、今の時代を作ってくれました。

今、「ひょうごかぞくねっと」において保護者の高齢化が進み、各施設で家族会自体が存続できるのかという問題も起きています。ですが「ひょうごかぞくねっと」は、原点に返り知的障がい者を守るために進んでいきます。我々が活動することにより、社会に理解者・味方を作ることが、社会を変えていくことに繋がっていくと思います。

「ひょうごかぞくねっと」は地道であっても、また一つひとつ積み上げ勝ち取っていきたいと思います。知的障がい者が安心して暮らせる未来を作りたいと思います。そのために、どうかお力をお貸しください。何卒、よろしくお願い申し上げます。

2020年度事業報告・決算報告/2021年度事業計画・会計予算

2021年度評議委員会は、昨年と同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、6月30日書面にて開催致しました。第1～5号議案すべて承認されました。

| | | | | |
|----|-------|---------------------|-------|------|
| 議題 | 第1号議案 | 2020年度事業報告について | 賛成 60 | 反対 0 |
| | 第2号議案 | 2020年度会計決算報告について | 賛成 60 | 反対 0 |
| | 第3号議案 | 2021・2022年度役員改選について | 賛成 60 | 反対 0 |
| | 第4号議案 | 2021年度事業計画(案)について | 賛成 60 | 反対 0 |
| | 第5号議案 | 2021年度会計予算(案)について | 賛成 60 | 反対 0 |

評議員の皆様、議決権行使書のご提出ありがとうございました。

2021年度事業計画

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大や災害における対応
- ・ 24時間一貫した快適な入所施設の新設の請願の継続
- ・ 行政機関への陳情と意見交換
- ・ 組織の拡大と強化
- ・ 活動力強化の研修会
- ・ 家族会内部問題検討会
- ・ 友誼団体との連帯強化

2020年度会計決算報告

2020.4.1～2021.3.31 (円)

1. 収入の部

| | |
|-----------------|-----------|
| 会費(賛助会費含む) | 4,750,000 |
| 寄付金・保険手数料 | 412,389 |
| 雑収入 | 270,403 |
| 負担金(全施連から給与手当他) | 1,230,000 |
| 前年度繰越金 | 2,677,651 |
| 合計 | 9,340,443 |

2. 支出の部

| | |
|-----------------|-----------|
| 会議費・旅費 | 0 |
| 印刷費 | 91,883 |
| 通信運搬費 | 303,930 |
| 研修費 | 750,000 |
| 事務消耗品費 | 323,584 |
| 減価償却費 | 75,982 |
| 負担・分担・渉外費 | 306,225 |
| 給与手当(全施連給与手当含む) | 2,600,000 |
| 法定福利費・福利厚生費 | 619,077 |
| 雑費 | 543 |
| 新聞図書費 | 6,600 |
| 次期繰越金 | 4,262,619 |
| 合計 | 9,340,443 |

2021年度会計予算

2021.4.1～2022.3.31 (円)

1. 収入の部

| | |
|-----------------|------------|
| 会費(賛助会費含む) | 4,650,000 |
| 寄付金・保険手数料 | 370,000 |
| 雑収入 | 20,000 |
| 負担金(全施連から給与手当他) | 1,230,000 |
| 前年度繰越金 | 4,262,619 |
| 合計 | 10,532,619 |

2. 支出の部

| | |
|-----------------|------------|
| 会議費・旅費 | 170,000 |
| 印刷費 | 120,000 |
| 通信運搬費 | 360,000 |
| 研修費 | 1,000,000 |
| 事務消耗品費 | 400,000 |
| 減価償却費 | 75,982 |
| 負担・分担・渉外費 | 430,000 |
| 給与手当(全施連給与手当含む) | 2,600,000 |
| 法定福利費・福利厚生費 | 630,000 |
| 雑費 | 10,000 |
| 新聞図書費 | 6,600 |
| 予備費 | 4,730,037 |
| 合計 | 10,532,619 |

役員改選

2021・2022 年度

| 役 職 | 氏 名 |
|----------|--------|
| 会長 | 山口 英治 |
| 副会長 | 三浦 雅春 |
| 副会長 | 吉岡 京子 |
| 副会長 | 寺澤 節子 |
| 副会長 | 野口 雄二 |
| 副会長 | 木村 政照 |
| 理 事 | 松端 信茂 |
| 理 事 | 高野 國昭 |
| 理 事 | 下山 義裕 |
| 理 事 阪神 | 小山 京子 |
| 理 事 阪神 | 笹川 かほる |
| 理 事 阪神 | 田中 佳子 |
| 理 事 神戸 | 呉 珀華 |
| 理 事 神戸 | 小野寺 良三 |
| 理 事 神戸 | 川村 幸子 |
| 理 事 神戸 | 出来 竝江 |
| 理 事 東北播磨 | 今井 サチ子 |
| 理 事 東北播磨 | 武市 君江 |
| 理 事 東北播磨 | 中右 厚子 |
| 理 事 西中播磨 | 上田 茂 |
| 理 事 西中播磨 | 松田 文一 |
| 理 事 西中播磨 | 中本 津知宏 |
| 理 事 但馬丹波 | 高林 恵子 |
| 理 事 但馬丹波 | 佐山 忠行 |
| 監 事 | 岩本 四十二 |
| 監 事 | 楯 順 |
| 顧 問 | 堺 孰 |
| 顧 問 | 木村 三規子 |

退任:由岐 透(会長)

西 博司(理事・学識経験者)

服部 満知子(理事・阪神)

山口 静子(理事・東北播磨)

退任される由岐様、西様、服部様、山口様、

長きに渡り、ひょうごかぞくねっとに

ご尽力賜り、感謝申し上げます。



《退任ご挨拶》 前会長 由岐 透

六月三十日をもちまして、兵庫県知的障害者施設家族会連合会 会長を退任いたしました。

在職中は公私ともに格別のご指導とご厚情を賜り、お陰様をもちましてその職責を果たせましたことに、心から厚くお礼申し上げます。

なお後任に山口 英治が会長に就任いたしますので私同様一層のご指導とご交誼を賜りますようお願い致します。

《就任ご挨拶》 副会長(西中播磨) 木村 政照

新型コロナウイルス禍でこれ迄の日常が一変しました。2020,21 年度と2年続きでの書面による審議となった本会の定期総会も無事終わりました。前任の平山昭利様の代理を務めさせて頂いておりました西中播磨かぞくねっと・佐用福祉会いちょう園保護者会長の木村政照です。この度の役員改選に於いて、ひょうごかぞくねっと副会長・西中播磨かぞくねっと会長に推挙されご承認をいただいたところです。もとより浅学菲才の身、皆様のご意見を頂戴しながら一致協力、一日も早いコロナの収束に希望を持ちその任に当たらせて頂きますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

《就任ご挨拶》 理事(西中播磨) 中本 津知宏

今年度より、ひょうごかぞくねっとの理事に、また西中播磨かぞくねっとの副会長に任命されました。私は協和学園保護者会の会長をして6年目になります。園では新型コロナウイルス禍で大変な中、施設長、職員の皆様にご大変お世話になっております。西中播磨かぞくねっと会長会がなかなか開催出来ない状況ですが先日、西中播磨の理事会をZOOM 会議で行いました。かぞくねっとの利用者、家族会、職員の皆様のために頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。

2021 年度年間予定表

| 月 | 日 | 行事 | 内容 | 場所 |
|--------|----|-------------------|--|---------|
| 4 | 下旬 | 会計監査 | 2020年度会計監査 | 監事へ書類送付 |
| 5 | 7 | 第1回正副会長会 | 年間計画 | オンライン |
| 6 | 11 | 第2回正副会長会 | 理事会に向けて | オンライン |
| 6 | 22 | 第1回理事会 | 事業・会計報告/事業計画・予算案 | 書面開催 |
| 6 | 30 | 評議員会 | ひょうごかぞくねっとと総会 | 書面開催 |
| ※6 | 30 | 全施連社員総会 | 総会・年間計画 | 書面開催 |
| 8 | 4 | 第3回正副会長会 | 2021年度活動について | オンライン |
| 11月頃 | | 第4回正副会長会 | 理事会に向けて | オンライン |
| 11月頃 | | 第2回理事会 | 中央研修会について | 未定 |
| 2月開催予定 | | 中央研修会 | 未定 | 未定 |
| 2月 | | 第5回正副会長会 | 第3回理事会議案書打合せ | 未定 |
| 2月 | | 第3回理事会 | 2021年度活動報告・次年度に向けて | 未定 |
| 未定 | | 意見交換会 | ①利用者の処遇について ②地域共生ホーム 施設の暮らしの点検シートについて | 未定 |
| 未定 | | 兵庫県知的障害者施設協会との懇談会 | | 未定 |

※全施連活動

・全施連全国大会・福祉の集いは中止となりました。

・福祉大会は、10月29日(水)開催予定。北播磨地区以外はオンライン参加の予定。詳細分かり次第郵送でご案内致します。

■各地区かぞくねっと活動予定

【阪神】昨年、今年と新型コロナウイルス禍にありなかなか活動が思うように出来ず、2年越しの研修ができれば良いのですが、知的障害者施設には医療が無い中、我が子が今の環境を変えないでどこで、どのように暮らすか？知的にも医療の必要性を強調したい。

研修会：「障害者の医療ケアをどうするのか？」をテーマに引き続き研修会を予定しています。

理事会：2回くらい

【こうべ】新型コロナウイルス感染拡大を注視し、理事会のオンライン会議を定着させ、今後の研修会等を従来の集合型に加えてオンライン参加も検討する。

- ・理事会 年4回(5月 8月 11月 2月)
- ・三役会 年2回(6月 3月) ・研修会 年1回(10月)
- ・監査 年1回(4月)
- ・HP ブラッシュアップ随時(3年後のこうべかぞくねっと)
- ・こうべ障害者音楽フェア実行委員会/こうべ障がい者芸術フェスタ実行委員会年2回(4月・8月)
- ・新春福祉関係者のつどい 年1回(1月)
- ・神戸市・神戸市社会福祉協議会・神戸市知的障害者施設連盟との家族会連携強化 随時
- ・新しいステージの神戸市を作る会 (久元市長講演会)
- ・こうべ市民福祉振興協会 (こころのアート展)

【東・北播磨・淡路】昨年は、新型コロナウイルス感染拡大で研修会・会長会等すべて中止になりました。コロナワクチン接種が始まり今年中にはすべての人々が受けられることを期待しています。会長会開催時に次回の研修会の内容の要望等を話し合いたいと考えています。

研修会：2022年2月(調整中)

講師：ワークホーム高砂 施設長：齋藤 克己氏
会長会(2回) 理事会(3回)

【西中播磨】今後の動向により順応に対応

いまだ衰えを見せない新型コロナウイルス、度重なる緊急事態宣言も発令され感染拡大の今後の動向に伴い、注視しながら、終息に希望をもって順応に対応していきたい。

理事会開催 7月・9月・2月

会長会開催 7月・9月・2月

ブロック研修会(愛心園保護者会)(日程等調整協議中)。

【但馬・丹波】会場を借りることができず、集まらない状況が続いている。コロナの状況をみて活動していきたい。

理事・会長会 6/26・8/28・11/20・1/29・3/26

9月 施設見学

10月 研修会

11/23 浜坂親子一泊旅行

メール連絡網を導入して

三木精愛園保護者会 会長 藤原 義衛 氏

昨年の2月、コロナの流行により面会と保護者会が急遽中止になりました。その連絡を保護者会の電話連絡網を使って回しましたが、時間と手間がかかった上に、連絡が届かず、当日施設まで来られた方も数名おられました。この出来事で、当会の電話連絡網が機能していないことが判明しました。それをきっかけに昨年5月にメール連絡網の導入を決めました。

導入時には「メールなどしたことがないから登録もわからん」と言われたり、設定が複雑な場合がありました。対策として、メール操作ができる家族の方の名で登録してもらい、その方から保護者へ内容を伝えて頂くようにしたり、通信会社の店舗へ出かけ、そこで設定して頂くなどご迷惑をおかけしました。この場を借りて、感謝申し上げます。

実際に運用を始めると、保護者会からの定期連絡や施設からの報告・連絡等が、一齐に送信でき、内容が文字として残るので、保護者の方には喜んでいただいていると思います。

登録には、ほとんどの方が大変協力的でしたが、保護者会や施設と関わりたくないと言われた方が一部おられました。特に、施設利用者の兄弟姉妹が多かったように感じました。保護者会の必要性を感じる機会が少ないからかもしれません。

私の体験ですが、数年前、妹が手術をすることになりました。私は、医者からの説明を聞き、文書に署名をし、24時間付き添いなど入院に関する事に携わり、親に代わって保護者として責任を負うことになりました。何もわからず不安でしたが、施設の方や同じような経験をされた保護者の方に相談することで、落ち着いて対応できました。

今後、保護者の高齢化で私のように兄弟姉妹の関係から親代わりの立場になる人が増えると思います。

メール連絡網のアドレス登録者と施設利用者との続柄を調べると、利用者の兄弟姉妹等が両親より多く6割以上になっています。そこで、メール連絡網を利用して、情報を発信し、メールのつなぎ手として関わることから少しずつ施設や保護者会を身近に感じてもらえるよう保護者会の新しい役割を模索しながら取り組んでいきたいと思っています。

最後に、安心して面会ができ、会員の方や職員の方と出会えることを楽しみに、その日が早く来るのを願います。

〈編集後記〉新型コロナウイルス感染拡大が止まらない中、オリンピック大会賛否両論中開催されましたが、感動してしまうことが多々あります。コロナがなければと考えてしまいます。かぞくねっとも昨年は活動ありませんでしたが、今年度役員改選でした。山口会長の「知的障がい者が安心して暮らせる未来を」との言葉と共に歩んでいきたいと思います。新型コロナウイルスの1日も早い終息を願っています。(Y.K)